

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 甲状腺腫瘍発症・進展機序の解明

[研究責任者] 長崎医療センター 病理診断科・科長 三浦 史郎

[研究の背景]

甲状腺腫瘍とその遺伝子異常を調べる研究が進められてきましたが、未だにすべてを解明できてはいません。例えば、どういった人が甲状腺腫瘍になりやすいのか、また同じ腫瘍でも悪性度が高く危険ながんから、長期間進行せずおとなしいもの、良性腫瘍まで様々です。遺伝子を調べることによって、こういった違いの原因が正確にわかるようになれば、予防や診断、治療にも活かせるはずです。この研究は、皆様の腫瘍組織や血液から「遺伝子」を抽出して解析し、病気の原因を究明し、新しい診断方法や治療法の開発につなげることを目指すものです。

[研究の目的]

今回の研究では、大きく二つの目的があります。

- 1) 甲状腺腫瘍で起きている遺伝子の変化を調べ、どういった腫瘍でどんな遺伝子の変化が起きているかその関連を見つけ出し、腫瘍発生や悪性化の仕組みを解明することです。この遺伝子の変化は遺伝することはありません。
- 2) 人間は両親から遺伝子を受け継ぐわけですが、どういった遺伝子を持った人が甲状腺腫瘍になりやすいのかを明らかにすることです。こちらは生まれながらに持ったその人の体質を研究するものです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

本院の外科、耳鼻咽喉科で甲状腺の手術を施行される方で、同意が得られた患者さん

●研究期間：西暦 2025 年 4 月承認後日から西暦 2030 年 3 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：手術時に摘出された腫瘍組織、その周りの一緒に切除された正常組織や血液

カルテ情報：臨床所見（年齢、性別、合併症、既往症、臨床病期、予後）、画像所見（超音波、MRI、CT）手術所見（術式）、組織所見（組織診断、免疫染色結果）など
カルテから抽出できる情報臨床病歴、既往歴、病理診断名、病理診断所見内容

●検体や情報の管理

検体は採取後、主治医あるいは個人情報管理者によって番号・記号へと匿名化され、長崎大学原爆後障害医療研究所へ送られます。

[研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

●研究代表者（研究の全体の責任者）：

長崎大学 原爆後障害医療研究所 教授 光武 範吏

●その他の共同研究機関：

京都大学ゲノム医学センター 教授 松田 文彦

福島県立医科大学 医学部 教授 鈴木 真一

野口病院 外科 医長 内野 真也

慶応義塾大学 小児科 准教授 石井 智弘

名古屋大学 環境医学研究所 教授 荻 朋男

天津医科大学 核医学科 主任医師 孟 召偉

東京大学 新領域創成科学研究科 教授 鈴木 穰

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター	外科	南 恵樹
	耳鼻咽喉科	田中 藤信
	病理診断科	三浦 史郎

電話番号：0957-52-3121（代表）